

特色ある読書推進活動の紹介



令和7年2月28日発行 福島県教育庁県北教育事務所

県北地区の「読書ボランティア」紹介！

県北地区では、読書ボランティア団体の後継者不足のため、団体数は減少傾向にあります。そのような中、桑折町では今年度から新しい読書ボランティア団体が立ち上がりました。

ビタミンやミネラルなどの栄養が豊富な「ブロッコリー」のように「読書を通じて、子どもたちに心の栄養を!」と、活動する読書ボランティア団体「ぶろっこりー」について紹介します。

読書ボランティア ぶろっこりー

登録人数 8名
活動日 打合せと勉強会 月1回
(毎月第2水曜日 13:30~)
活動内容 絵本の読み聞かせ
朗読、昔話
活動場所 桑折町中央公民館分室
イコーゼ!・幼稚園
小学校・やすらぎ園 等



「ぶろっこりー」は、これまでに読み聞かせの活動をしたことがないメンバーでスタートしました。そのため、最初は読書ボランティアの方に技術を教えてもらったり、活動を見学に行ったりしたそうです。初めはとても緊張したそうですが、「子どもはとても正直なので、喜んでもらうととても嬉しい」「子どもたちには改善点を教えてもらっている」「読み聞かせをしてあげる、ではなく、させてもらっている」と嬉しそうに話す皆さんから、子どもたちとのコミュニケーション、そして仲間とのコミュニケーションが活動の原動力になっていると感じました。

「ぶろっこりー」の皆さんの今後の活躍にも期待しています!

<絵本の選書後、読み聞かせの練習をする様子>

読書ボランティア
団体の減少

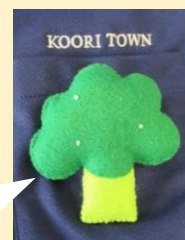


・読み聞かせ講座の実施
(桑折町中央公民館)
・読書ボランティアの募集



研修会に参加した方が中心となり
「ぶろっこりー」が結成!!

令和8年度から「指定野菜」に追加されることになった「ブロッコリー」が名前の由来です。



絵本の読み聞かせは非認知能力の向上につながるとされています。読書ボランティアの皆さんが、子どもたちのことを思いながら本を選び、どきどきしながらも一生懸命に読む姿は、子どもたちにも伝わります。地域に住む読書ボランティアの皆さんによる読み聞かせは、子どもたちに本の魅力や醍醐味を伝えるだけでなく、温かい心のふれあいで、心を豊かにすることにもつながりますね!

